行政改革大綱実施計画書

大綱主要項目		スマート自治体の推進				
具体的な項目		ＩＣＴを活用した業務の推進				
実施計画項目		ＩＣＴを活用した行政改革				
担当課		デジタル戦略課	関係課	全課		
No.Ⅴ-1-(1)		令和３	4	5	6	7
実施年度	実施計画	○	○	○	○	○
	効果又は数値目標	ＤＸ戦略計画策定【令和４年度修正】	財務会計電子決裁導入 BPR プロジェクトによる改善（1 プロジェクト）【令和４年度修正】	BPR プロジェクトによる改善（3 プロジェクト）【令和４年度修正】	BPR プロジェクトによる改善（5 プロジェクト）【令和４年度修正】	BPR プロジェクトによる改善（5 プロジェクト）【令和４年度修正】
進捗状況	実績	A	S	S		
	効果又は数値実績	ＤＸ戦略計画策定財務会計電子決裁検討	電子決裁運用開始３プロジェクト実施	５プロジェクト実施		

現状と課題

働き方改革において、市職員についても多様な働き方の実現、長時間労働の是正、及び労働生産性の向上が求められているが、近年の行政需要の多様化、複雑化に伴い、職員数及び期間外勤務が増大しており、効率的かつ高い機能性を有した市の業務執行体制を構築し、行政改革を進めることが必要である。市では、令和４年３月に策定した真岡市ＤＸ戦略計画の中で根本的に業務プロセスを見直し、より効率的かつ効果的な業務フローに改善し業務のスリム化を図るＢＰＲを推進することとした。【令和４年度修正】

課題解決に向けた方策

ＢＰＲのためには、デジタル化・ＩＣＴツールが有効な手段になる。ＤＸ担当部門と導入後の運用・改善まで含めた検討・協議することにより、業務主幹課の業務の最適化だけでなく、全体を俯瞰的に検討し、全庁的に業務の最適化を図る。プロジェクトチームを編成し実際の業務改革を行うとともに、参加したメンバーを継続的なＢＰＲの実践できるようなリーダーとして育成を図る。【令和４年度修正】

具体的な取組内容

【令和５年度】
ＢＰＲプロジェクトを実施し５業務の改善案を提案した。
（①おくやみワンストップサービス　②行政評価　③地域公共交通ＭａａＳ
④健康づくりポイント　⑤学校からのお知らせＤＸ）
特に「おくやみワンストップサービス」では、手続きの最初にデータ連携を行うことで必要な手続きの判定などの業務効率化とワンストップ窓口による市民サービスの向上につなげている。

実績考察（理由、改善すべき点等）

業務をより効率的なものにするためには、データの流れを中心に業務を再設計することが必要である。決裁や書類保管に紙や印鑑によるアナログな手段が残っており、俯瞰的な視点からプロセス見直しを行う必要がある。

考察を踏まえての今後の取組方針
【令和６年度】 　引き続きＢＰＲによる業務改革の支援を行い、成功事例の共有やプロジェクト参加者の活動を通じてデジタルによる業務改革を広げていく。